
2021年3月期第1四半期決算説明資料

2020年8月

稲畑産業株式会社

売上高： **1,287億円** 対前期比 Δ 16.1%

新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収

営業利益： **22億円** 対前期比 Δ 36.5%

売上高の減少により、減益

経常利益： **30億円** 対前期比 Δ 29.8%

営業利益の減少により、減益

親会社株主に帰属する
四半期純利益： **20億円** 対前期比 Δ 33.9%

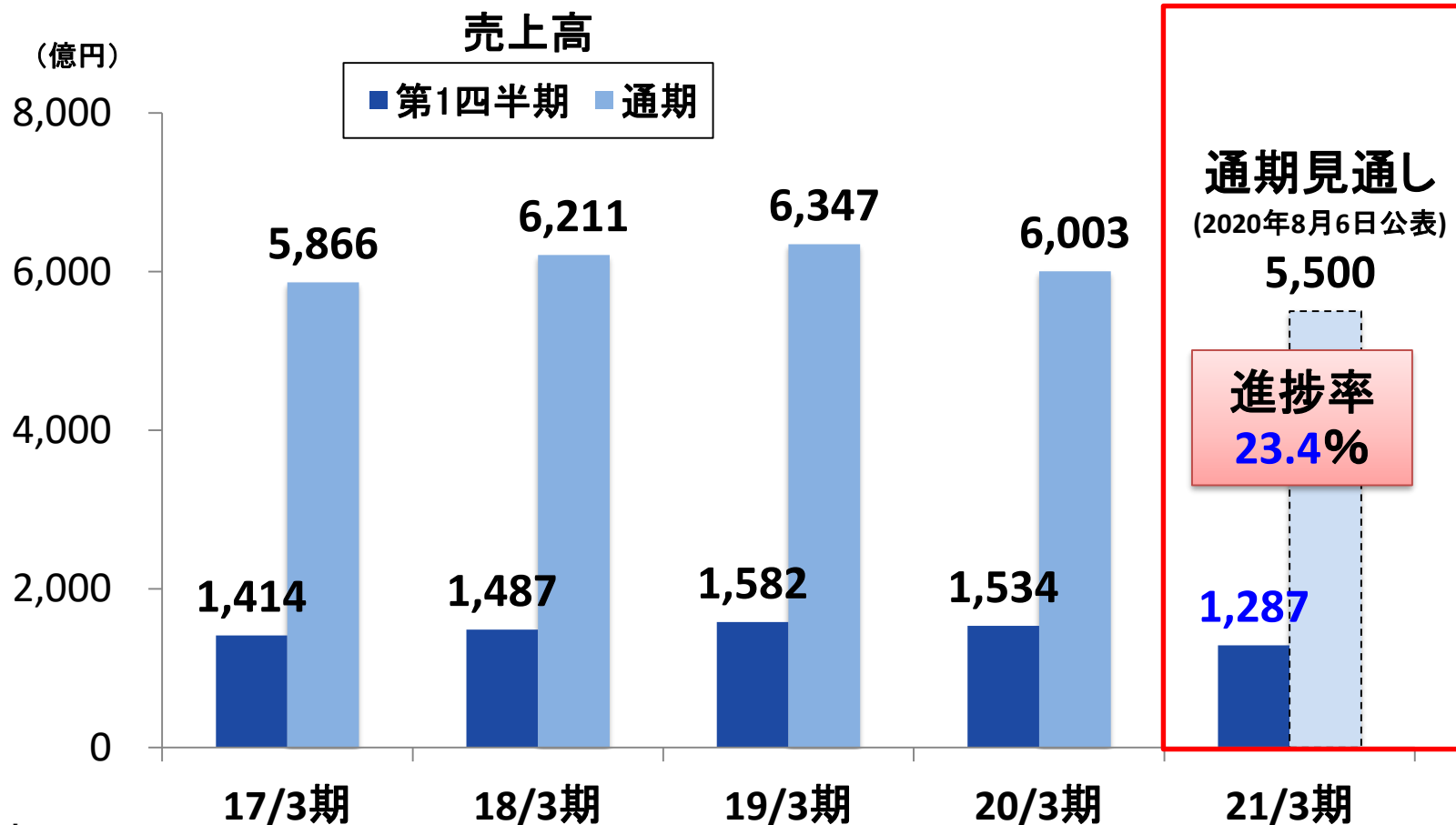
経常利益の減少により、減益

2021年3月期 第1四半期 連結決算総括

(億円)

	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期 (A)	対前年同期比増減		2020年8月6日 公表 通期見通し (B)	達成率 (A)/(B)
			金額	%		
売上高	1,534	1,287	△247	△16.1%	5,500	23.4%
営業利益	35	22	△12	△36.5%	95	23.4%
経常利益	43	30	△13	△29.8%	100	30.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	30	20	△10	△33.9%	85	23.8%
為替レート USD/円	109.90	107.63	△2.27		107.00	

売上高の推移

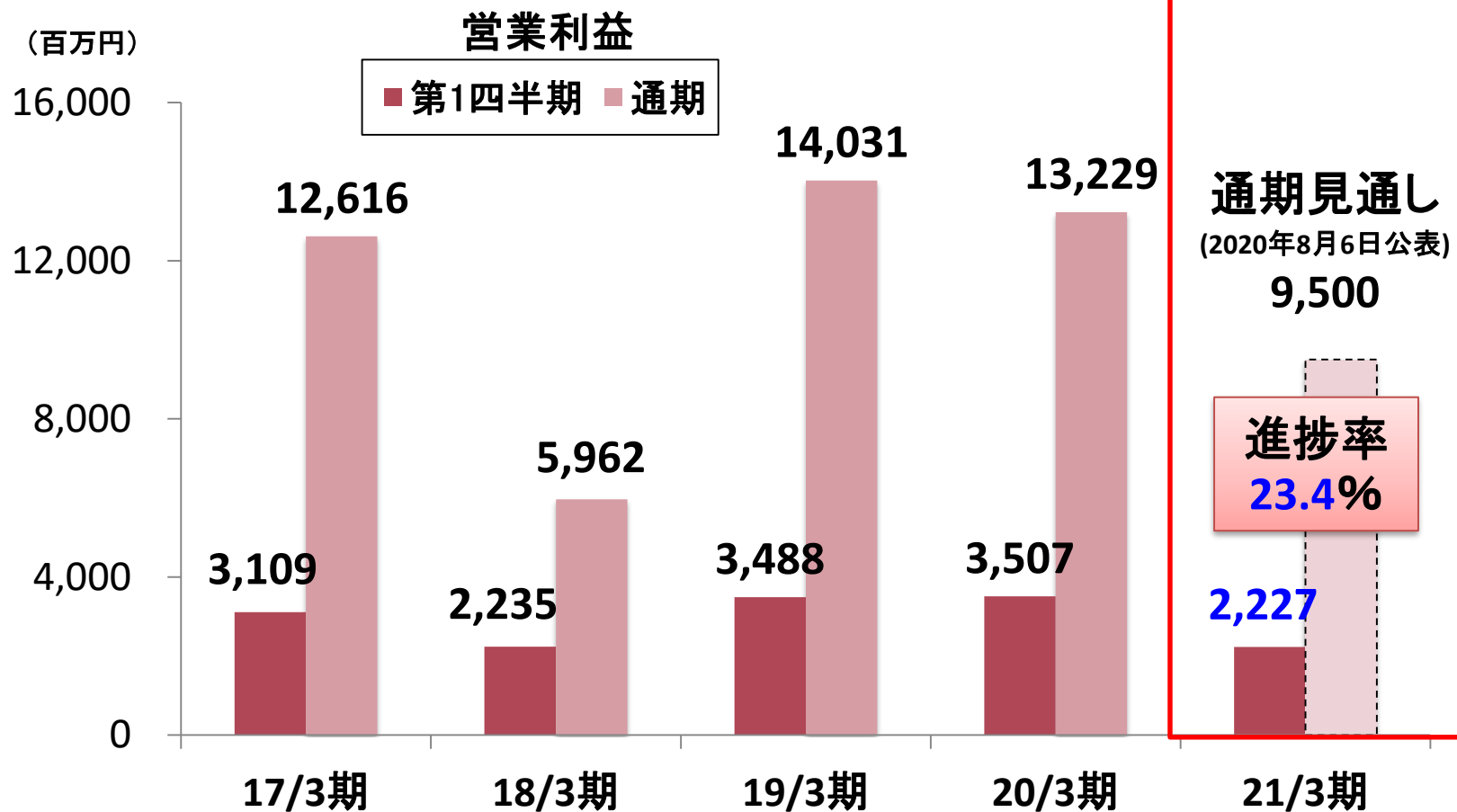


(参考)

		17/3月期	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期
為替レート USD/円	第1四半期	108.04	111.09	109.10	109.90	107.63
	通期	108.34	110.85	110.92	108.70	(注) 107.00

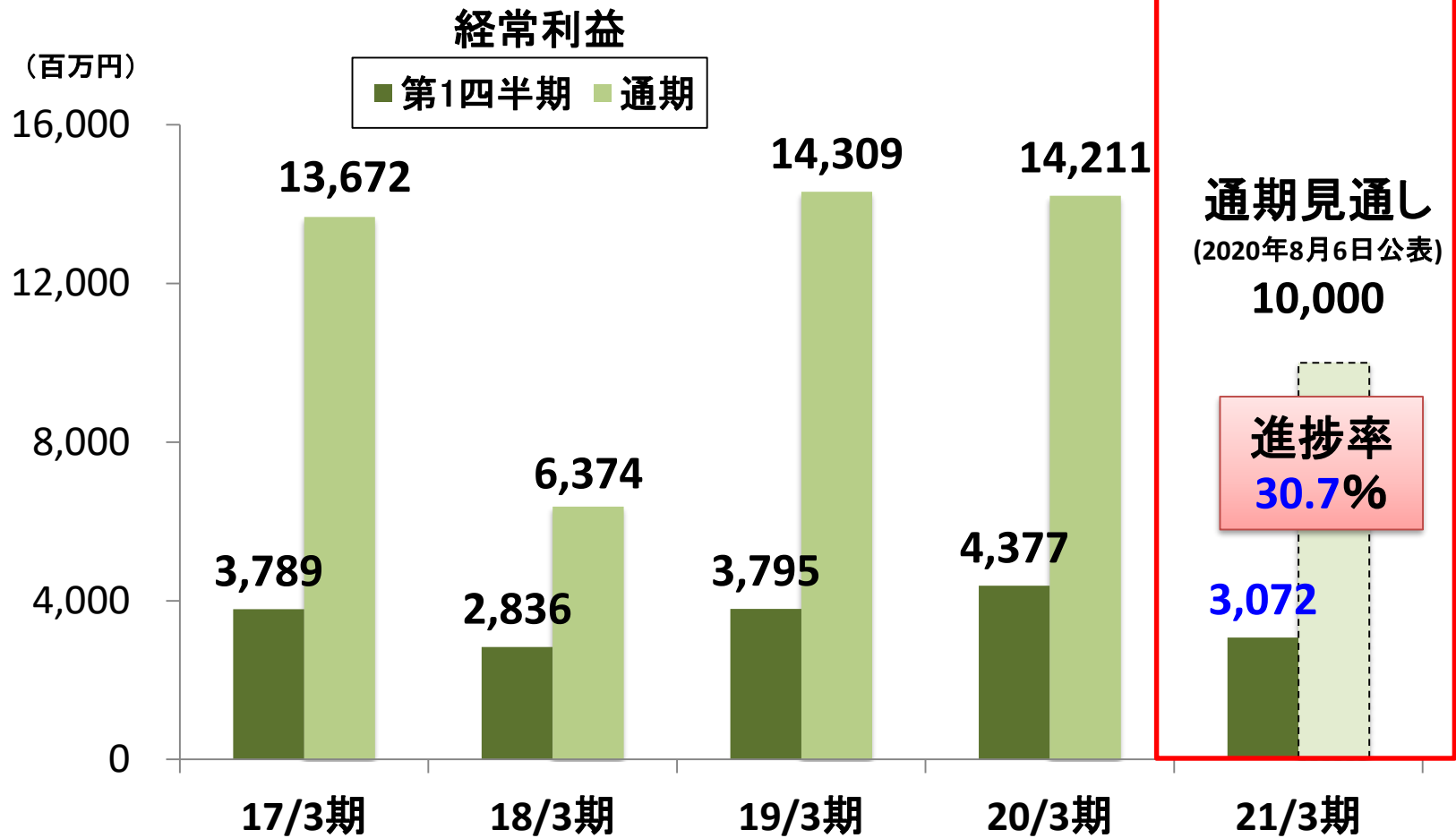
(注)公表時での想定

営業利益の推移

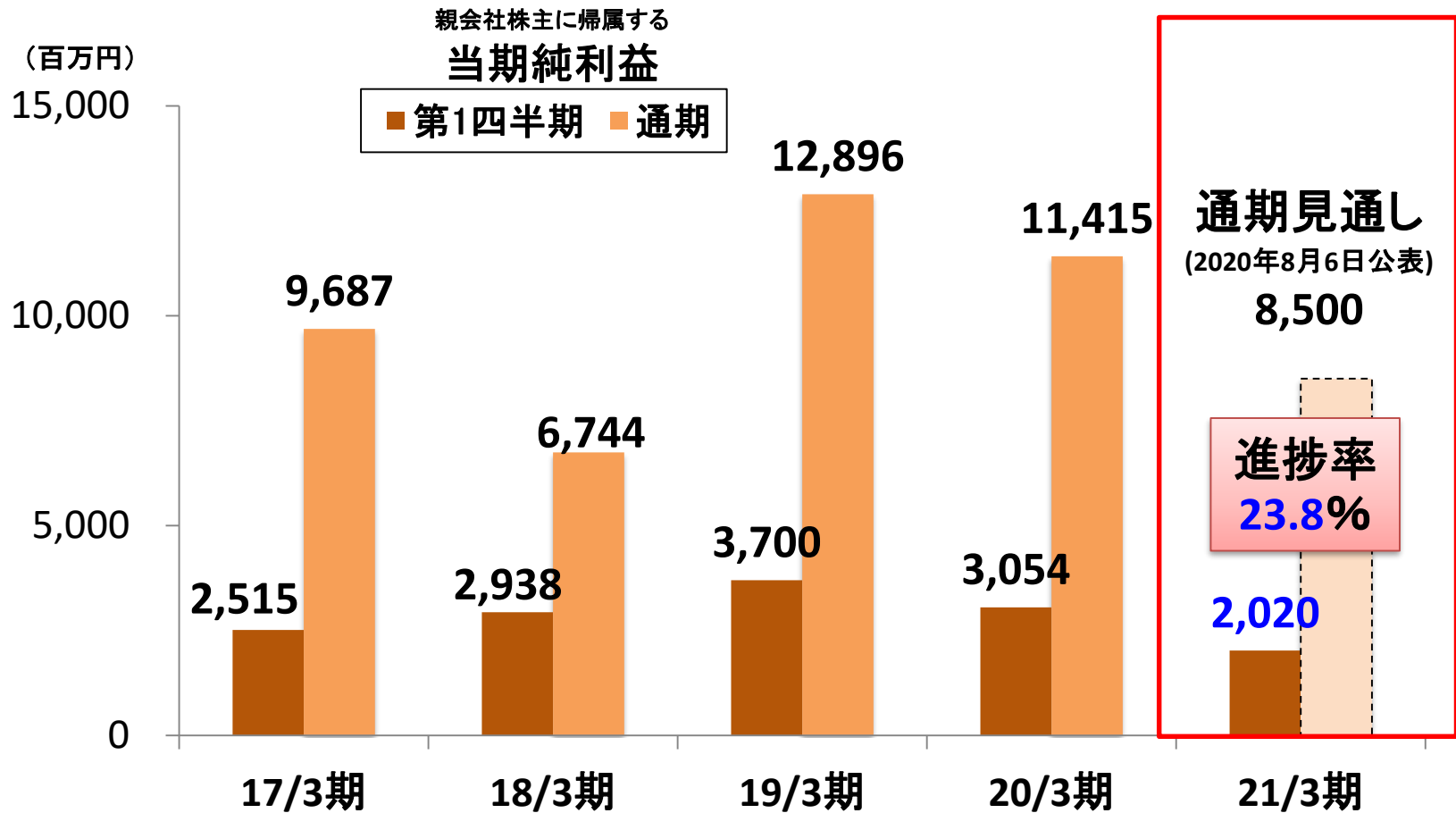


※18/3期 欧州子会社において貸倒引当金を計上
1Q 9億円、通期 66.5億円

経常利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益の推移



B/Sサマリー

- ・減収により売上債権および仕入債務が減少
- ・保有する有価証券の時価の上昇により、投資有価証券およびその他の包括利益累計額が増加

(億円)

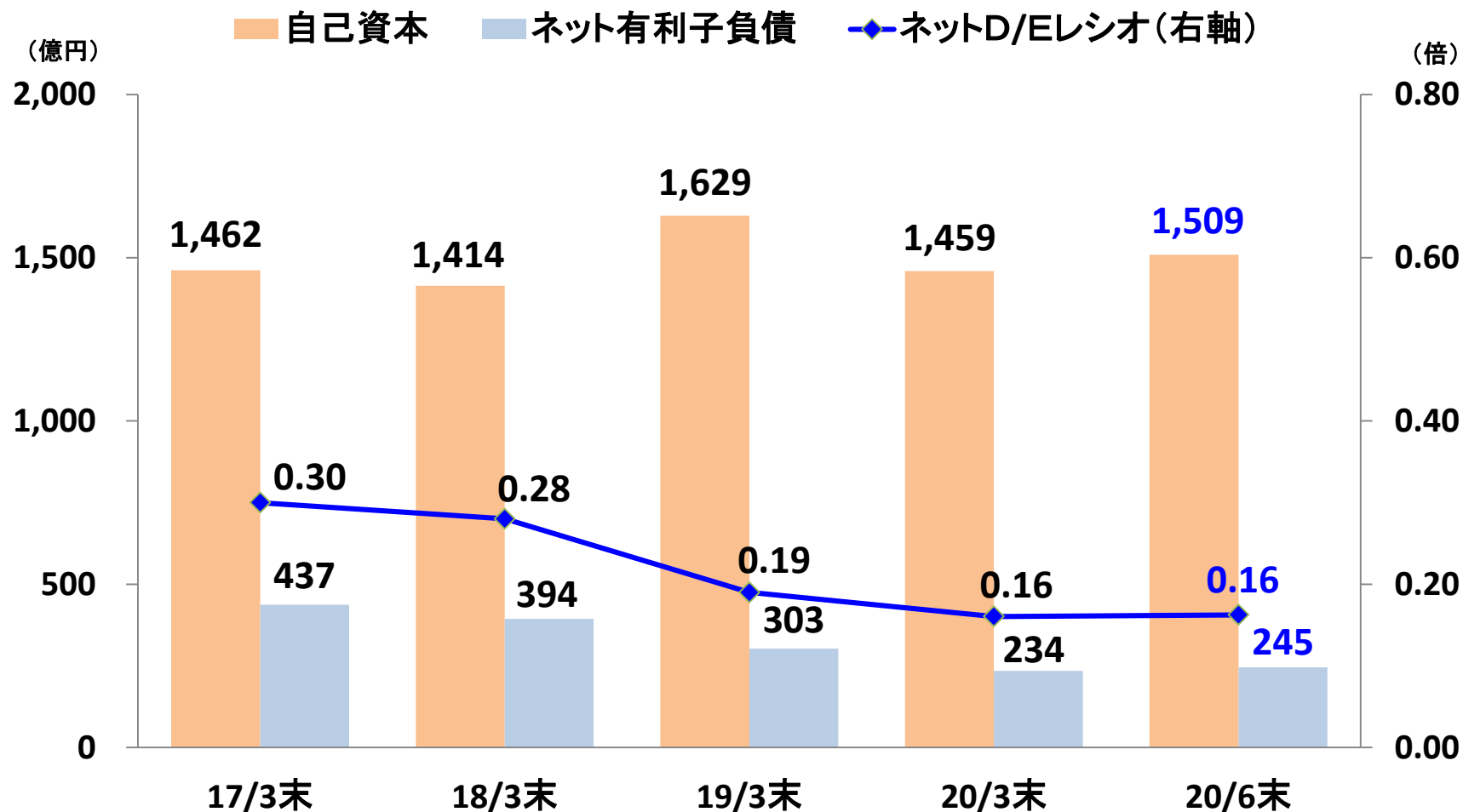
(資産)	20/3末	20/6末	増減
現金及び預金	294	228	△65
受取手形及び売掛金	1,524	1,381	△142
棚卸資産	559	581	+22
その他流動資産	73	68	△5
有形固定資産	139	139	+0
無形固定資産	30	28	△1
投資有価証券	542	617	+75
その他固定資産	65	63	△1
資産合計	3,228	3,110	△118

(負債/純資産)	20/3末	20/6末	増減
支払手形及び買掛金	967	845	△121
短期借入金	430	377	△53
その他流動負債	109	92	△16
長期借入金	97	97	△0
その他固定負債	145	171	+25
株主資本	1,191	1,186	△5
その他の包括利益累計額	267	323	+55
非支配株主持分	18	16	△1
負債純資産合計	3,228	3,110	△118

流動比率	162.6%	171.8%
------	--------	--------

自己資本比率	45.2%	48.5%
--------	-------	-------

自己資本・ネット有利子負債・ネットDER推移



(注)自己資本=純資産-新株予約権-非支配株主持分
ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現預金)/自己資本

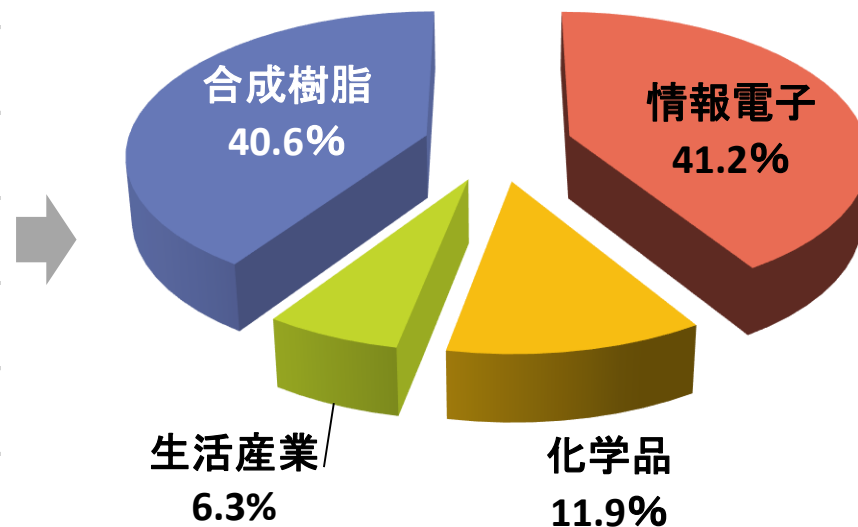
事業セグメント別 売上高

- ✓合成樹脂事業は、樹脂価格下落と新型コロナウイルス感染症の影響により減収
- ✓化学品事業は、感染症の影響により自動車向けの原料販売等が低調

売上高

(億円)

	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年同期比 増減率
情報電子	550	529	△3.7%
化学品	181	153	△15.8%
生活産業	94	80	△14.8%
合成樹脂	707	522	△26.1%
その他	0	0	△2.1%
合計	1,534	1,287	△16.1%



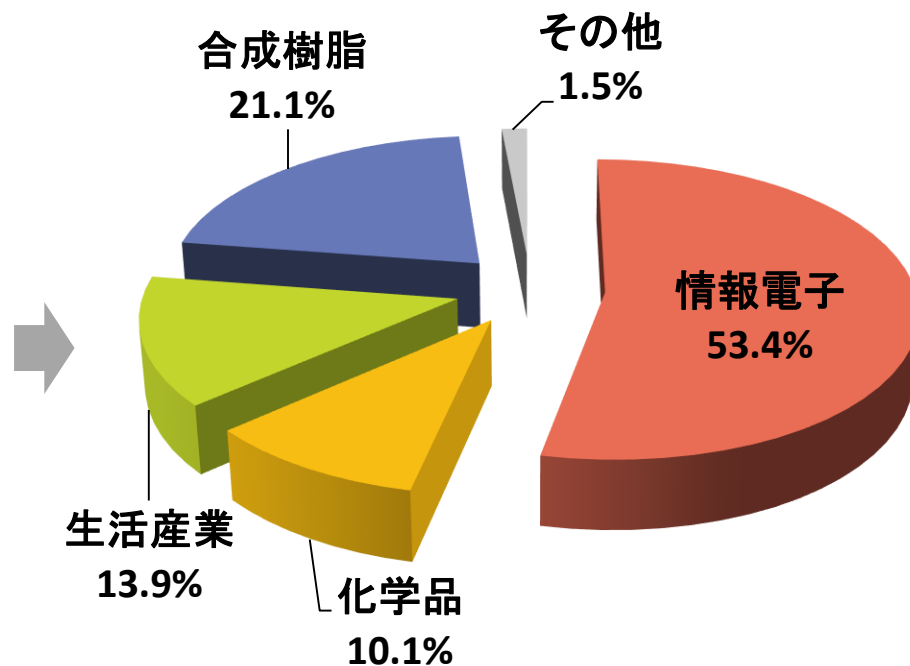
事業セグメント別 営業利益

- ✓合成樹脂事業は、特にロックダウン状態にあった東南アジア各国で減益
- ✓化学品事業は、自動車向けの原料販売等が低調
- ✓生活産業事業は、医薬品原料や外食向け水産品の販売減少により減益

営業利益

(百万円)

	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年同期比 増減率
情報電子	1,187	1,188	+0.1%
化学品	357	226	△36.8%
生活産業	394	309	△21.6%
合成樹脂	1,534	470	△69.3%
その他	34	32	△3.8%
合計	3,507	2,227	△36.5%



✓ 今後の見通しの前提について

感染症の影響は、事業を展開する各国により異なりますが、当期中はその影響が残りつつも、当第1四半期に経験したような経済の急激な落ち込みはなく、世界及び日本の経済環境は、2021年3月末にかけて緩やかに回復に向かうものと想定。

✓ 感染症の影響が大きい事業・分野

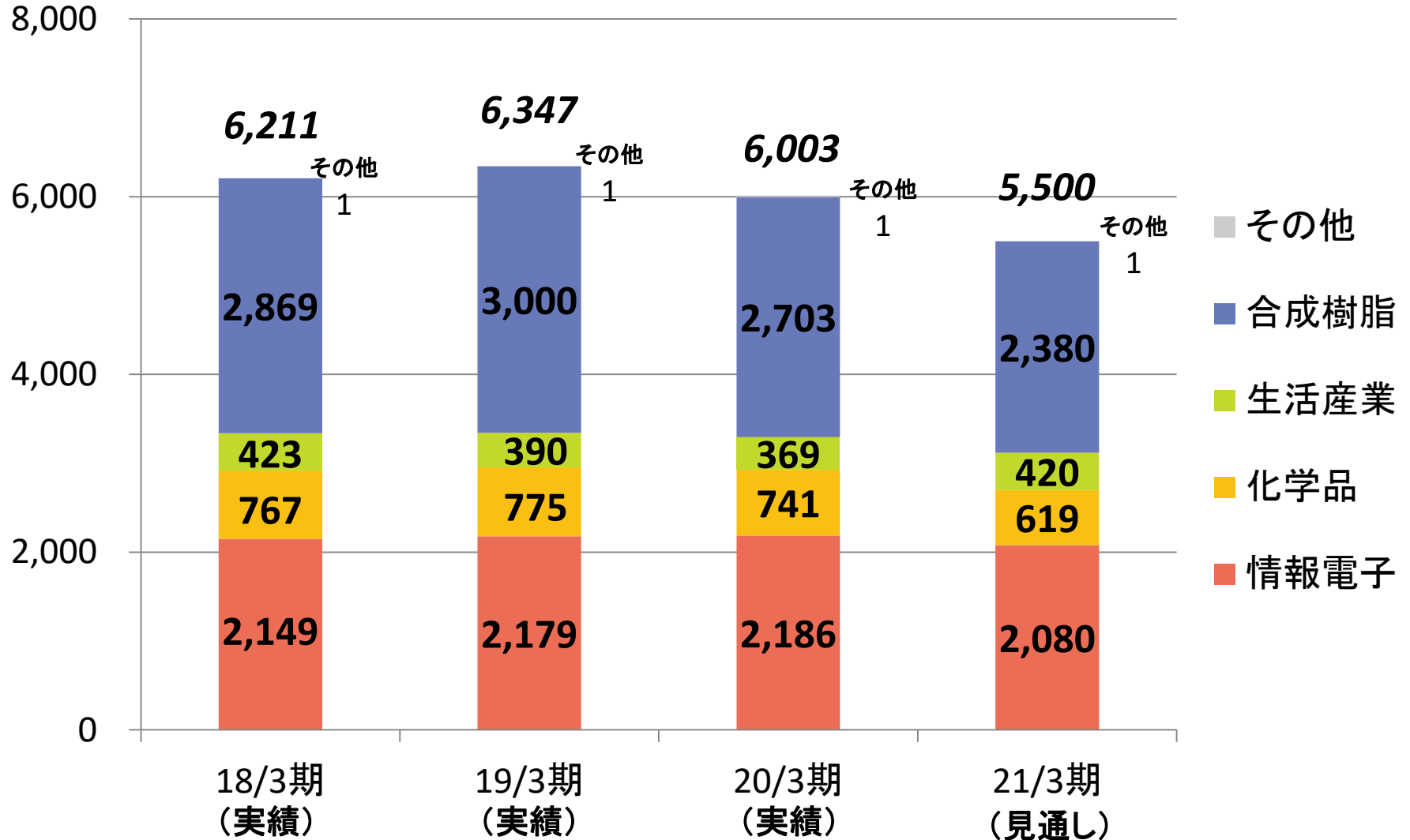
事業別：合成樹脂事業、化学品事業

分野別：自動車分野等

地域別：東南アジア

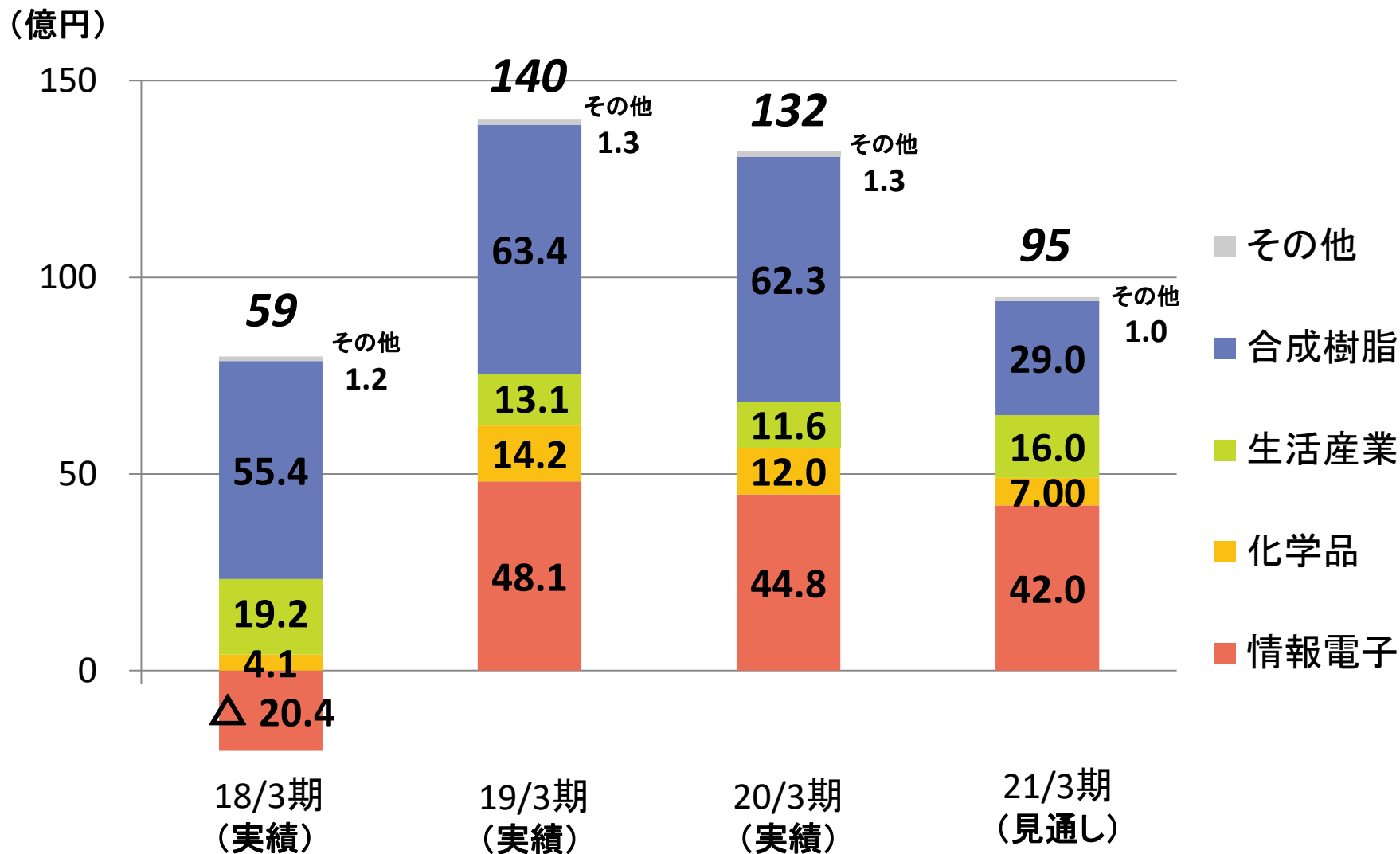
事業セグメント別 売上高予想

(億円)



※20/3期より、住環境事業は化学品事業に統合しています。19/3期以前の実績は変更後の区分に基づき作成しています。

事業セグメント別 営業利益予想



※18/3期 欧州子会社において貸倒引当金を計上 情報電子事業 59.0億円、化学品事業 7.5億円

※20/3期より、住環境事業は化学品事業に統合しています。19/3期以前の実績は変更後の区分に基づき作成しています。

利益還元の方針

総還元性向 30～35%目安

2020年3月期(実績)

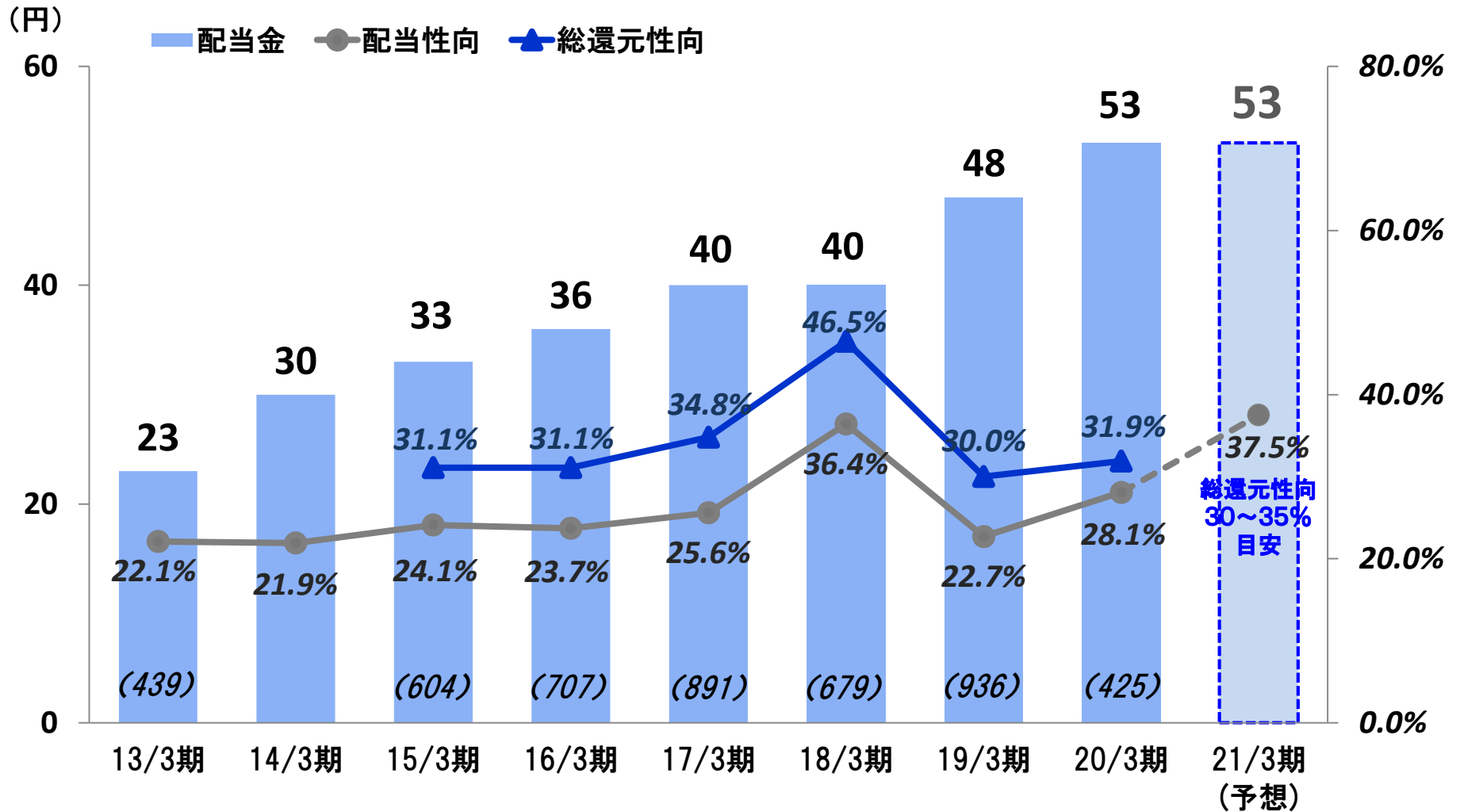
1株当たり配当金	:	53円 (中間20円・期末33円)
自己株式取得額	:	425百万円 (300,000株)
総還元性向	:	31.9% (配当性向 28.1%)

2021年3月期(予想)

1株当たり配当金	:	53円 (中間20円・期末33円)
----------	---	-------------------

株主への利益還元②

1株当たりの年間配当金と株主還元指標の推移



※棒グラフ下部のカッコ()内は、期中に実施した自己株式取得額(百万円)です。

連結子会社等の状況

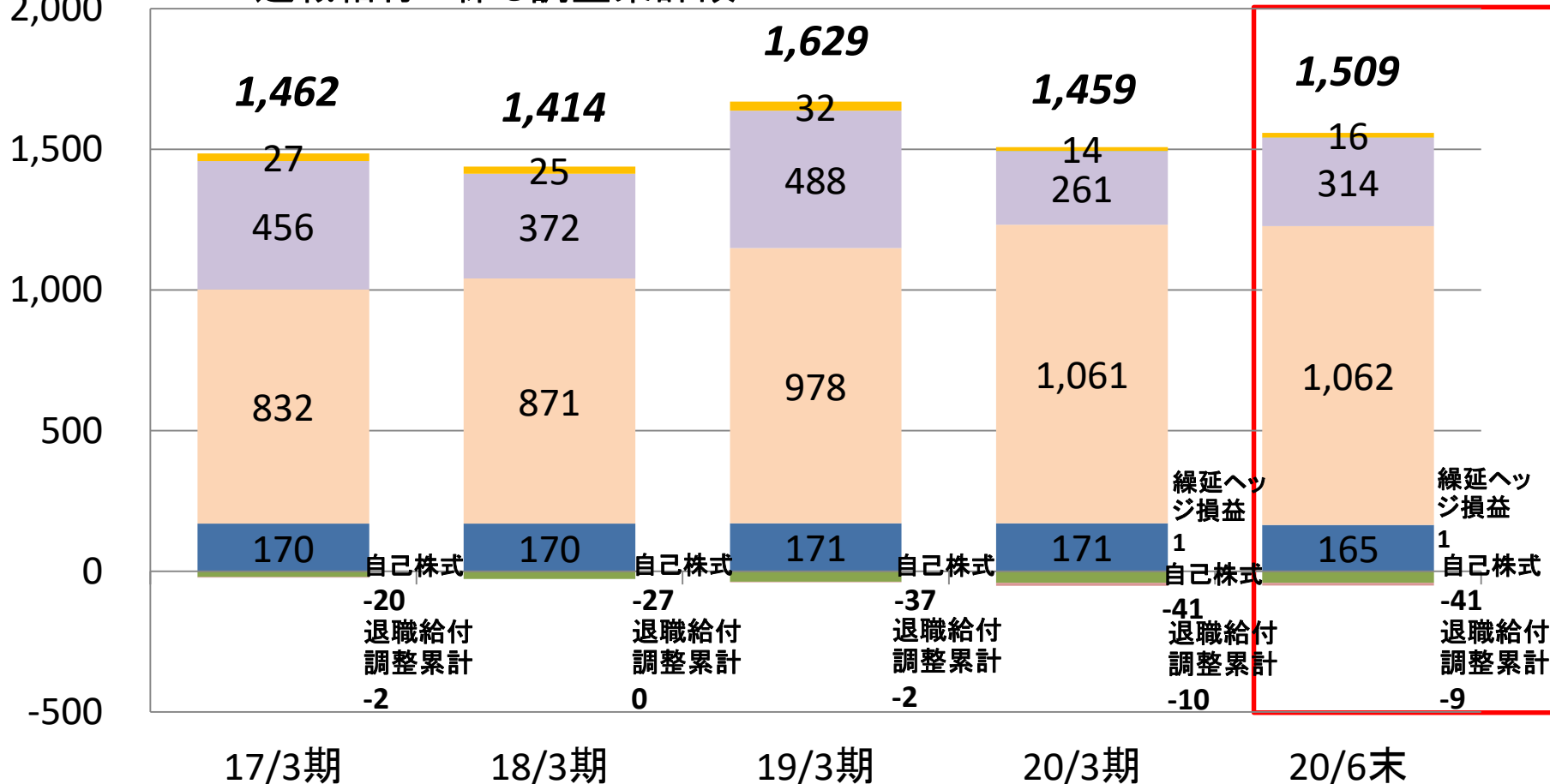
	社数		
	国内	海外	合計
連結子会社	7	37	44
（内 製造・加工業）	（5）	（17）	（22）
持分法適用関連会社	4	1	5
（内 製造・加工業）	（2）	（1）	（3）
合計	11	38	49
（内 製造・加工業）	（7）	（18）	（25）

※2021年3月期より、集計区分を一部変更し、連結子会社(国内)の製造・加工会社を1社追加しました(水産加工業:株一光園)

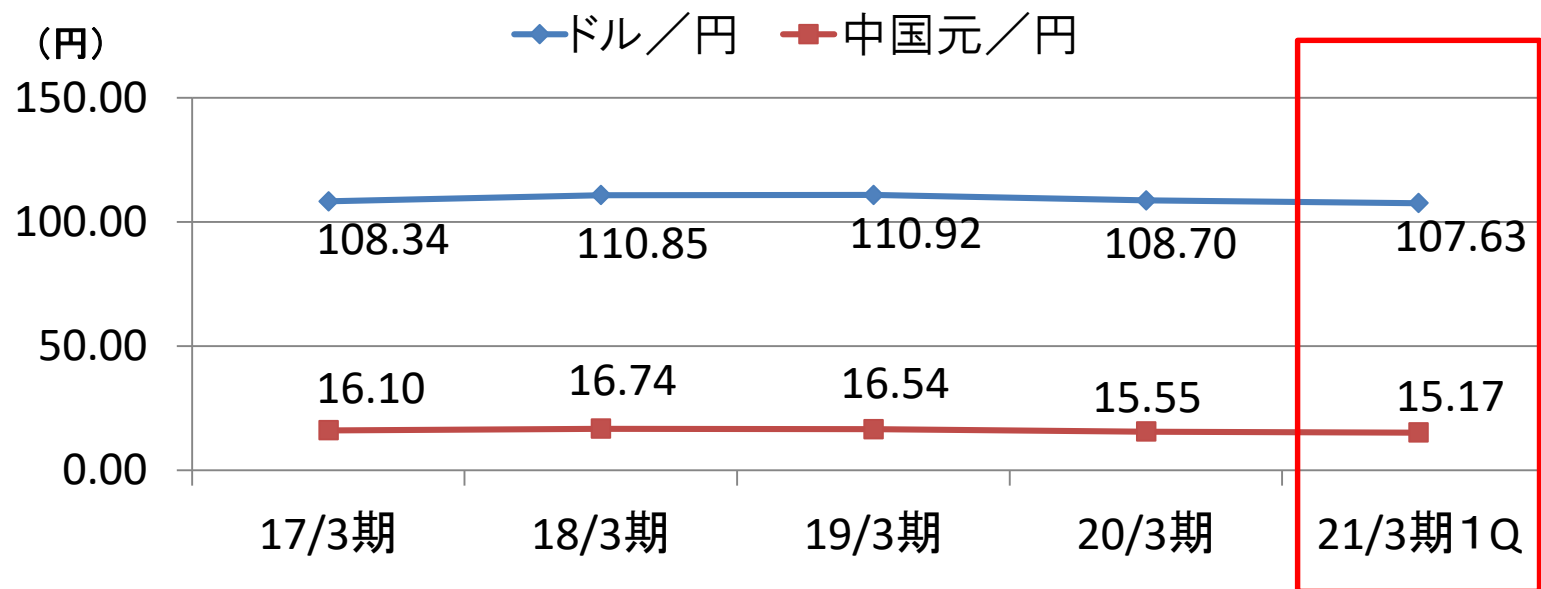
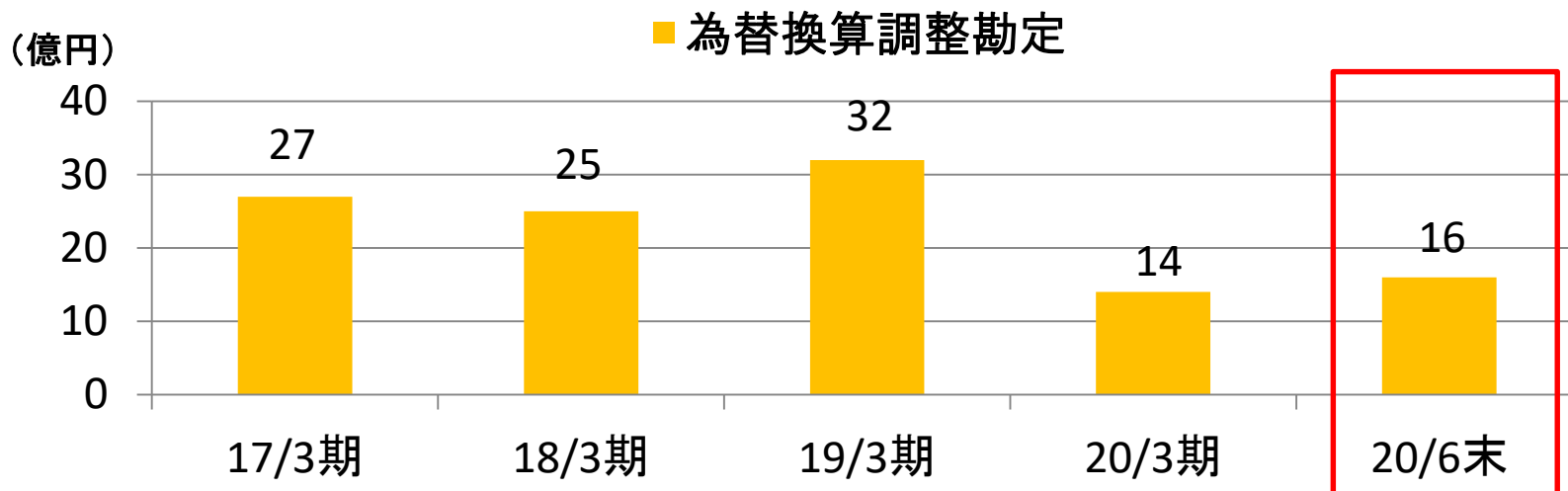
(参考) 自己資本の推移

- 資本・資本剰余金
- 自己株式
- 繰延ヘッジ損益
- 退職給付に係る調整累計額
- 利益剰余金
- その他評価差額金
- 為替換算調整勘定

(億円)
2,000



(参考) 為替変動による為替換算調整勘定への影響



□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

TEL 050-3684-4007 FAX 03-3639-6410

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。